

皆野町人口ビジョン及び皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

I 皆野町人口ビジョン、皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

日本の人口は2008年（平成20年）の1億2,808万人から減少傾向にあり、2060年（平成72年）には、8,674万人になると推計されています。

国では、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力のある日本社会を維持していくために、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。

皆野町では、地方創生に関する町民意識調査の結果を踏まえ、議会・産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体からなる「皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」による審議を経て「皆野町人口ビジョン」及び「皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

II 皆野町人口ビジョン

1. 人口動向の分析

皆野町の総人口は、平成7年の12,602人から平成22年の10,888人へと1,714人の減少となっています。年齢3区分別人口では、0歳から14歳、15歳から64歳人口は減少していますが、65歳以上人口は増加しています。

■皆野町の総人口と年齢区分別人口の推移

区 分		平成7年	平成22年	増 減
総人口		12,602人	10,888人	1,714人の減少
内訳	0歳から14歳	2,019人	1,321人	698人の減少
	15歳から64歳	8,048人	6,387人	1,661人の減少
	65歳以上	2,535人	3,179人	644人の増加

※平成22年は、年齢不詳の1人を含まない。

■出生数・死亡数、転入者数・転出者数の推移

(単位：人)

区 分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出生	67	63	80	79	89	74	84	69	72	58
死亡	153	139	138	150	149	179	142	148	165	173
転入	264	278	309	300	300	265	276	198	219	219
転出	450	365	340	345	336	298	325	333	294	322
増 減	-272	-163	-89	-116	-96	-138	-107	-214	-168	-218

■合計特殊出生率の推移

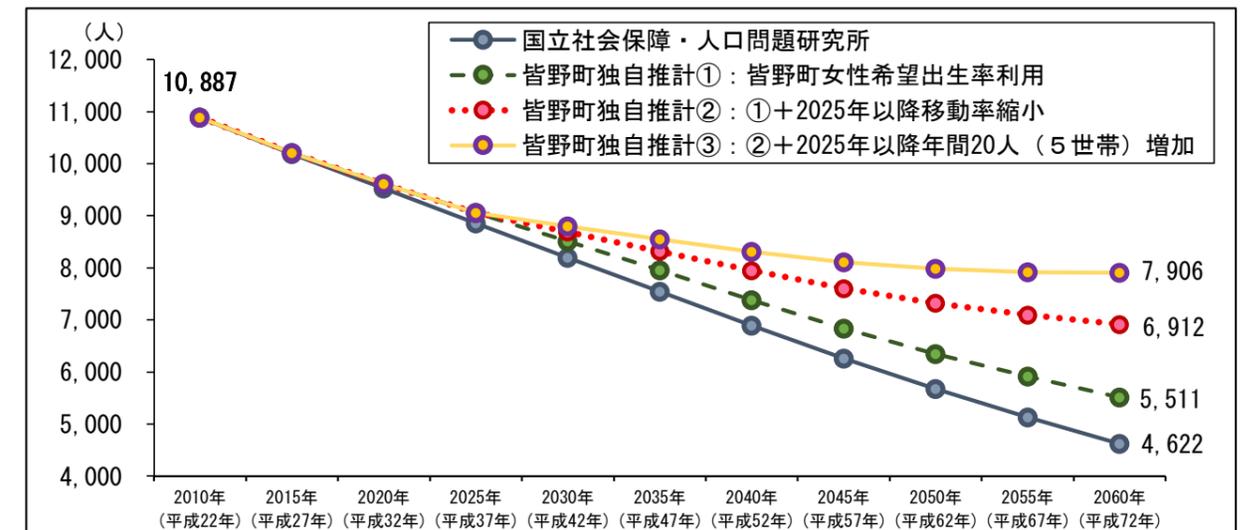
区 分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
皆野町	1.12	1.03	1.29	1.31	1.50	1.56	1.54	1.29	1.41
埼玉県	1.22	1.24	1.26	1.28	1.28	1.32	1.28	1.29	1.33
全 国	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43

皆野町の合計特殊出生率は、各年によって差がありますが、平成17年から平成25年の平均は1.34となっています。(埼玉県の平均1.28、全国の平均1.36)

2. 皆野町の人口見通し

国立社会保障・人口問題研究所による皆野町の2060年の人口は、4,622人まで減少すると推計されており、高齢者の地域での日常生活や地域コミュニティの維持が困難になることが懸念されます。

町では、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計を基に、女性の希望出生率や移動率などの将来人口の設定要因を加え、2060年までの人口見通しについて独自推計を行いました。



【独自推計の方法】

- 独自推計①：皆野町の女性の希望出生率2.15を2025年に実現すると設定した推計
- 独自推計②：独自推計①に2025年から移動率が縮小すると設定した推計
- 独自推計③：独自推計②に2025年以降、年間20人（5世帯）の転入を設定した推計

3. 目指すべき将来の方向

人口減少に関する認識を住民が共有し、子ども達の皆野町への愛着心を育み、若い世代が皆野町で就労、結婚、子育てを行い、経済を活性化し住民が活躍できるまちづくりを進め、安心して定住でき、皆野町に住むことに憧れるまちを目指します。

2060年（平成72年）の将来人口 8,000人程度

皆野町の2060年の総人口は、独自推計③の結果を踏まえ、8,000人程度を目指します。

【将来人口を実現するための3つの基本方向】

- 基本方向1 合計特殊出生率を高める (理想の子ども数を実現しよう!)
- 基本方向2 移動率を縮小する (転出を減らそう!)
- 基本方向3 子育て世代の転入を増やす (移住の地として選ばれよう!)

■ 基本目標1 皆野暮らしを実現できるまち（定住・移住の促進）

数値目標	指 標	基準値（平成27年）	平成31年（度）目標値
	転入者数	263人	290人

取り組みの方向性	主な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）※
①住まいの支援	○子育て世帯等住宅取得補助金 ○Uターン等多世代同居住宅改修 ○移住体験（お試し移住）事業 ○空き家リノベーション支援	住宅取得・整備補助制度利用件数 25件→35件 空き家バンク転入世帯1→7（累計） 移住体験参加世帯0→20（累計）
②愛着意識の醸成	○秩父音頭まつりへの参加 ・浴衣での参加普及 ・同窓会による参加促進 ○中学生による観光案内実習	秩父音頭まつりへの参加 ・浴衣での参加 38%→66% ・同窓会による参加 2組→5組
③暮らしやすさの向上	○狭あい道路の拡幅整備 ○自主防災・防犯組織の充実強化 ○空き家対策の推進 ○コミュニティ活動の促進	狭あい道路率 82.9%→81.6% 行政区における組織率 ・自主防災組織 100%（維持） ・自主防犯組織 137%（維持）
④みなのもろごと情報発信	○定住・移住情報の提供 ・出産・子育て支援制度の情報 ○観光・イベント情報の提供	ホームページによる閲覧件数 ・定住等 82,268件→105,000件 ・観光等 100,815件→200,000件

※重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略。政策ごとの達成すべき成果目標。

■ 基本目標2 出合いを応援するまち（結婚支援）

数値目標	指 標	基準値	平成31年（度）目標値
	出合いの場への参加者数	一人	延べ200人

取り組みの方向性	主な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
①出合いのきっかけづくり	○体験型による出合いの創出 ・農業・森林体験の開催 ・婚活パーティーの開催 ・みなのお味覚めぐりの開催 ・同窓会の支援	体験型のイベント開催回数 0→8回
②結婚気運の高揚	○お節介仲人制度 ○みなのお花嫁プランづくり ○みなのおハートポイントづくり	お節介仲人数 0→10人 みなのおハートポイント数 0→5か所

■ 基本目標3 理想の子ども数をかなえるまち（出産・子育て支援）

数値目標	指 標	基準値（平成27年）	平成31年（度）目標値
	出生数	51人	70人
	子ども3人以上世帯数	93世帯	105世帯

取り組みの方向性	主な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
①経済的な支援	○放課後児童クラブ利用料免除 ○子どもの医療費無料化 ○多子世帯（子ども3人以上）子育て助成制度の拡充	医療費無料化の拡大 中学生まで→高校生まで
②保育環境の充実	○教育・保育施設の充実 ○放課後児童対策の充実 ○在宅保育者への支援	保育所入所待ち数 0人（維持） 放課後児童クラブ入所待ち数 0人（維持）
③医療体制の充実	○産婦人科の充実（定住自立圏） ○町内医療機関の連携強化	秩父圏域内産婦人科設置数 1施設（維持）
④多様な働き方の普及	○柔軟な勤務体制の導入促進 ○ワークライフバランスの普及	くるみ認定事業所数※ 2事業所→4事業所

※くるみ認定事業所：子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定を受けた事業所

■ 基本目標4 みんなが活躍するまち（経済の活性化）

数値目標	指 標	基準値	平成31年（度）目標値
	入込観光客数	494,468人（平成26年）	540,000人
	道の駅出荷者数	305人（平成27年度）	305人（維持）

取り組みの方向性	主な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
①就労の場の確保	○農業の6次産業化支援 ○企業誘致活動・創業の支援 ・女性・若い世代の創業支援	農業6次産業化 2→4事業所 新規立地企業 4→20事業所（累計）
②就業しやすい環境づくり	○地元企業の職場体験活動の促進 ○地元企業の情報提供・説明会 ○町民等を対象とした企業見学会 ○シルバー人材センターとの連携	職場体験等実施企業数 ・職場体験 24→30事業所 ・見学会 6→9事業所
③観光の振興	○賑わいの仕組みづくり ○イベントの開催 ○特産品の開発・販路拡大	観光メニューの開発 1件→5件（累計） イベント開催数 7回→10回